

報道関係各位

2025 年 12 月 11 日

VLP Therapeutics, Inc.

VLP Therapeutics Japan 株式会社

**VLP セラピューティクス・グループ、約 280 万ドルの支援を獲得：
高い有効性・低コスト・公平な医療アクセスを実現する新規マラリアワクチンの開発に向けて**

VLP Therapeutics, Inc. (VLP セラピューティクス、米国メリーランド州、CEO：赤畑渉、以下「VLPT」) 及び VLP Therapeutics Japan 株式会社 (東京都港区、代表取締役：赤畑渉、以下「VLPT ジャパン」) は本日、新規マラリアワクチンの開発に向け、米国ゲイツ財団から 2 年間・約 280 万米ドル (約 4 億 4,000 万円) の支援を獲得したことを発表しました。

この支援により、VLPT は独自のプラットフォーム技術を活用し、新たな多段階標的型マラリアワクチン¹の非臨床研究・開発を進めます。マラリアに対する免疫の付与とコスト削減、低・中所得国における公平な医療アクセスの拡大が目的となります。本段階では、ワクチン候補の設計・スクリーニングを行い、げっ歯類モデルで免疫原性を評価する予定です。

VLPT 赤畑渉 CEO コメント

「私たち VLP セラピューティクス・グループは、ワクチンが十分に行き届いていない地域にも届けるため、次世代型の新規マラリアワクチンの開発に取り組んでいます。私たちが保有するプラットフォーム技術を活用し、医療環境の整っていない地域の方々、特に子どもたちに公平なアクセスを提供するとともに、地域の医療従事者、製造者、政策担当者と協力し、世界の隅々でマラリア予防策を整えることに寄与したいと考えています」

用語説明

1. 多段階標的型マラリアワクチン | Multi-stage malaria vaccine：マラリア原虫のライフサイクルの複数段階を同時に標的とするワクチン。単一段階を狙う従来型ワクチンと比べ、感染防御効果や持続性の向上が期待される。

###

◆ VLPセラピューティクス (VLPT) について

<https://vlptherapeutics.com>

VLP Therapeutics, Inc. (本社：米国メリーランド州、CEO：赤畑渉) は2013年、世界の「満たされていないメディカル・ニーズ」に応え、革新的な予防・治療免疫療法を開発するため、赤畑渉が上野隆司博士、久能祐子博士らと設立しました。2025年現在、がん治療と感染症予防に関する研究開発を進めています。

◆ VLPセラピューティクス・ジャパン (VLPTジャパン) について

<https://vlptherapeutics.co.jp>

VLP Therapeutics Japan株式会社 (本社：東京都港区、代表取締役：赤畑渉) は2020年、米国 VLP Therapeutics, Inc. (VLPT) の100%子会社 (当時) として設立されました。VLPTジャパンは現在、国立研

究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、AMED先進的研究開発戦略センター（SCARDA）及び厚生労働省の支援により、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）等に対するワクチンを研究・開発中です。

【問合せ先】

Director of Global Communications and IR, VLP Therapeutics, Inc.

飯島 由多加 | Email: info@vlptherapeutics.com